#### 私のおすすめスポット

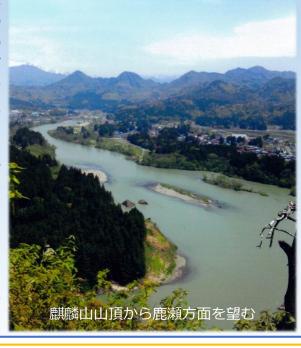
会員 木村 貴美子(燕市在住)

昨年10月から双子の娘(萌夏、夏乃)と入会させていただきました木村貴美子です。よろしくお願いします。 3000メートル級の登山は無理ですが、ちょっとそこらへ山歩きは大好きで、その中でも山も川も汽車も(!) 楽しめるスポットをご紹介します。

阿賀町(旧津川と旧鹿瀬にまたがる)の麒麟山です。清酒の銘柄や狐の嫁入り行列で有名なあの山です。実は自然と歴史がうまく融合した山で、1000種余の植物が観察され、山の中腹には津川城跡が残る麒麟山公園になっています。なだらかな中腹までが城跡で県の指定史跡とのこと。そこを抜けると山頂にかけてはごつごつした岩山になり、5月の大型連休頃には岩かげにイワカガミやフデリンドウなど可憐な山野草があちこちに見られます。私が登った5月4日には、登り始めの常浪川沿いに桑の実がたわわに実っており、中腹のブナ林では小枝をわたるリスにも会えました。川沿いには大きく育ってしまったコゴミが大量に…もうちょっと早い時期がいいですね。

そして山頂のお楽しみ。とがった山頂から眼下に常浪川が、北には阿賀野川上流と磐越西線が見え、お昼近くには汽笛を鳴らしながら通っていくSL磐越物語号の姿も見られます。爽やかな風で汗を乾かしながらおにぎりをほおばる。最高の贅沢です。

麒麟山の登山口は阿賀町役場からR457を麒麟山温泉方面へ向かい城山トンネル手前に大型駐車場があり、茶屋の隣が登山道入口になっています。小一時間で登れる気軽な山ですが、山頂付近は岩場でごつごつしているので山の支度をしてどうぞ。



### **県外1泊2日バスツアー ~狩野川放水路と「青山士」の生地を訪ねる~** 平成28年6月17日(金)~18日(土)

今年の県外河川探訪ツアーは大河津分水路補修工事の指揮をとった青山士さんの故郷、静岡県へ行ってきました。初日は沼津河川国道事務所職員の方から柿田川自然再生事業(柿田川公園)と狩野川放水路を案内していただき、夜は青山士さんのご子息、青山多惠さんを囲んで懇親会を開催しました。翌日はお墓参りに中泉寺へ。青山士さんご夫妻のお墓の表面には何も文字が刻まれていませんでした。生前の士さんが「お前が好きな言葉を入れなさい」と多惠さんに言ったそうです。そのエピソードを聞いて青山士さんらしさを感じた人も多かったと思います。越後の人々の為に尽力した偉大な技術者に感謝すると共に、このような貴重な機会を与えていただいた多惠さんに感謝いたします。





# 理事長だより ~典生のつぶやき~

# 大河津分水建設の日、国は河川事業にどれだけ出費していたのか

今年の4月、公益社団法人 日本河川協会の発刊する雑誌「河川」に特集記事を頼まれて、 「信濃川改修の歴史的意義」という題で短い文を書いた。信濃川についてこのような文を 書くとなれば、当然大河津分水に関して書かねばならない。私の書いた結論を短く言えば 次のようになる。明治期にかけて幾多の水害に見舞われた信濃川では、大河津分水の建造 は治水の切り札であった。この時期、このような分水工事としては、淀川放水路と荒川放 水路が挙げられる。いずれと比べても、大河津分水は格段に難しく、その成功は分水によ る治水技術の確立に大きな意味を持つ。

ところで、その書いた中に、明治10年から20年間の国の出費した土木費と河川事業費に ついてのデータを次のように整理した。「河川事業費の土木費に占める割合が、今日の目 で見れば、多いという印象を持たれるのでは無いか。実際、河川事業費/国土木費を計算す ると、その最大値は0.993 (明治10年度)、平均値は0.624 となっている。」

すなわちこの時期、日本政府は水害対応で苦労していたことを示すと思われたのである。 しかし、である。これは国土木費の中の国河川事業費を議論しただけである。そもそも国 家総予算の中で、それらはどんな割合を占めていたのであろうか。それを少し調べてみた。 日本の国家予算は「明治初期以降国家予算一覧表」として、ホームページに出ている。今 回はその決算の値を使おう。そうすると、明治10年度の4,340万円余から明治29年度の1 億6886万円余まで順調に伸びている。ところが雑誌河川に使用した国の土木費は此間、 142千円から1,867千円まで増加しているが、国家予算中の比で見ると、実に0.03%から 0.11% (その間最大は0.20%) に過ぎない。これはこの時代、公共土木工事が盛んでな かったことと、河川を含めた土木工事の多くが県などの負担となっていたことを反映して いるのだろう。つまり、この時期の実態は県負担も交えて議論する必要があるのではな かったのか!

これらの数字を今日の数字と比べることには意味があるのかどうかわからないが、2016 年度の国家予算の総額は96.7兆円にも達し、其のうち公共事業費はほぼ6兆円、社会保障 費はほぼ32兆円、と隔世の感を抱かせるのである。

### 第2回ガイド研修

日時:平成28年6月25日(土)9:00~12:00

場所:大河津資料館2F多目的ホール

参加:13名 (支援部・事務局)

早川理事長より館内の案内ポイントについて説明して いただいた後に、避難・消火訓練を実施しました。資料 館ミニシアターから出火したという設定で訓練を開始。



いるとはいえ 慌ててしまい なかなか順調 にはいきませ ん。今回の訓 練の反省点を いざという時 に活かし、行 動できるよう 備えたいと思 います。

水消火器を使って消火訓練

# 信濃川クリーン作戦/庭木の剪定

日時:平成28年6月25日(土) 13:00~15:00

場所:大河津資料館周辺および敷地内

参加: クリーン作戦19名/剪定14名 (支援部)



本川橋の下流側を 中心にクリーン作戦 を実施し、多くのゴ ミを集めることがで きました。暑い中参 加していただいた皆 さんお疲れ様でした。

剪定作業は資料館 周辺の伸び放題だっ た枝や草を切ったの で、さっぱりと綺麗 になりました。作業 していただき、あり がとうございました。



### 十日町市博物館友の会の紹介

十日町市博物館友の会 岡村 和博 氏

十日町市博物館友の会は、博物館を利用しながら、郷土の自然・歴史・文化について学び、楽しもうとする人たちが集まって活動しています。主な活動としては、グループ研究、文化財めぐり、友の会会報『火焔』の発行などの友の会独自の活動のほか、博物館事業への協力や、十日町雪まつりへの参加も行っています。

#### ~研究グループの紹介~

十日町市博物館友の会では現在、9つの研究グループがあります。各グループの主な活動内容を紹介します。

グループ名	研究等の内容
【植物】	・市内の植物調査、観察やキノコ観察会を開催。
【古 文 書】	・十日町市と周辺地域に遺されている古文書を解読する。
【いしぶみ】	・各地のいしぶみと遺跡等を探査する。
【歴史】	・魚沼の歴史を中心に学ぶ。
【民 俗】	・和宮と将軍家茂が愛用した越後縮の調査研究や、『北越志』など。
【方 言】	・十日町のくらしと言葉のかかわりの研究。
【考 古】	・博物館の見学会や、各種研究会への参加。
【近 代 史】	・世界遺産に至る過程と現在の保存状態及び観光客数の現状を学ぶ。
(世界遺産を学ぶ会)	・日本の近代史及び十日町の移り変わりについて学ぶ。
【き も の】	・博物館資料を基に十日町の織物について研究する。

### ~イベント・文化財めぐり~

毎年2回、県内外の文化財を巡る研修旅行を開催しています。

今年度は6月8日に、"大河ドラマ「真田丸」の舞台・信州上田を巡る旅"を開催しました。31名の会員が参加し、真田宝物館、大河ドラマ館や、別所温泉北向観音・安楽寺を巡りました。



くきものグループ活動の様子>



<文化財めぐりの様子>

#### 第1回信濃川教養講座 川の花で作る押し花講座

日 時:平成28年6月4日(土) 14:00~16:00 場 所:大河津資料館2階多目的ホール・資料館周辺

参 加:10名 (事業部)

講師に田辺加代子さんをお迎えし、初めての押し花講座を開催しました。一般的な押し花講座と違い、まず押し花の材料をさがすところから始まりました。草花の名前は柄沢英理子さん(エコロジーサイエンス)に教えてもらいながら、参加者の皆さんは熱心に押し花に向いている草花をさがしていました。その後資料館に戻り、段ボールとティッシュを使う押し花の作り方を教えていただきました。身近な草花と道具で、簡単できれいに押し花ができると大好評でした。10月の講座では今回作った押し花でしおりやはがきを作ります。今回参加されなかった方も次回はぜひご参加ください。



# 県内河川探訪 『五十嵐川の災害復旧探訪ツアー』

平成23年7月豪雨災害の復旧事業が進む五十嵐川筋と 国道289号八十里越道路事業を巡ります。(事業部)

日 時:平成28年9月6日(火)8:30~17:00

※予備日:平成28年9月9日(金)

(悪天候の場合は八十里越現場立入不可のため)

集 合:大川津ふれあいセンター

定 員:20名程度 参加費:2,000円程度(昼食代)

※参加希望者は8月26日(金)までに事務局へご連絡くだ

さい。定員になり次第、締め切ります。

# 第2回信濃川教養講座『押し花でしおり作り』

第1回信濃川教養講座『川の花でつくる押し花講座』 で資料館周辺の草花を押し花にしましたが、今回はその 押し花を素敵なしおりなどにアレンジします。また、秋 の草花もさがして押し花にします。お気軽にどうぞ。

日 時:平成28年10月15日(土)14:00~:16:00

講 師:田辺加代子さん

場 所:大河津資料館2F多目的ホール 定 員:20名程度 参加費:無料

※参加希望者10月7日(金)までに事務局へご連絡くださ

い。定員になり次第、締め切ります。 (事業部)

# 第3回ガイド研修 『糸魚川ユネスコ世界ジオパーク』

今回のガイド研修は糸魚川市のフォッサマグナへ行 きます。ガイドの方に案内していただきながらジオ パーク内の見学場所を巡ります。(事務局・支援部)

時:平成28年10月1日(土)8:00~17:00(予定)

所:フォッサマグナミュージアム・フォッサマグ

ナパーク・高浪の池・小滝川ヒスイ峡

合:大川津ふれあいセンター

定 員:20名程度(運営員以外の方も参加できます。)

参加費:1,000円程度(昼食代)

※参加希望者は9月9日(金)までに事務局へご連絡くだ

さい。定員になり次第、締め切ります。

### サケまつり

毎年恒例のサケまつりを開催します。帰ってきたサケ を味噌汁にして新米の塩むすびと一緒に無料でふるまい ます。多くの方のお越しをお待ちしています。(事業部)

日 時:平成28年10月15日(土) 11:30~13:00

場 所:大河津資料館前

※事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

なくなり次第終了です。

## 大河津分水講演会『横田切れを振り返って、洪水の危険性を知る講演会』

今年度の講演会は2回に分けて開催します。今年で明治29(1896)年7月に発生した「横田切れ」から120年です。 大水害の歴史と被害を振り返ると共に、洪水の恐ろしさと身を守るすべ、身近な河川でどのように洪水が起こるのか を学びます。2回目は12月4日(日)新潟市内で開催します。詳細は次号たよりにてお知らせします。(事務局)

#### ◆講演プログラム

「あらためて、横田切れを振り返る」

講師 樋口勲氏(友の会理事)

- ②「信濃川の洪水:江戸、明治期以来をたどり、将来を考える」講師 早川典生氏(友の会理事長)
- ③「関東・東北水害から新潟平野が教訓とすべき事」

講師 安田浩保 氏(新潟大学 災害復興科学研究所)

④「大河津分水路拡幅工事の概要」

- 講師 南健二 氏(国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所)
- ◆日時:平成28年11月13日(日) 14:00~17:10 ◆場所: 燕市分水公民館 ◆参加費: 無料 ◆定員:200名程度
- ◆講演会後に交流会を17:30から開催します。 会場:やま友(燕市分水町内) 会費:4,000円
- ※参加希望者は平成28年11月1日(火)までに事務局へお申込みください。定員になり次第、締め切ります。

# ■。ºݠº。ݠ゚ロ。ºݠº。ݠ゚゚。ݠ゚゚。ݠ゚ インフォメーション ■。ºݠº。ݠ゚ロ。゚゚。゚゚゚

#### 熊本地震への義援金について【ご報告とお礼】

この度の熊本地震により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上 げます。友の会では熊本地震災害により被害を受けられた方々を支援するため 募金箱による義援金の受付を実施しました。皆様からお預かりした義援金は燕 市役所を通じて被災地へ寄付させていただきました。ご協力いただきました皆 様に心より感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。(事務局)

### 義援金総額 27,510円

#### 開催中

信濃川大河津資料館特別展 「横田切れ」 120年 ~私たちの暮らしを

変えた大水害~

期間:7月5日(火)~9月25日(日) 会場:信濃川大河津資料館

2F企画展示コーナー

#### 《編集後記》

◆子供達が夏休みに入ったこともあり資料館に来てくれる人が増 えました。加えてポケモンGOが日本でも配信されたお陰でモン スターを求めて来る人もチラホラ…思いがけない効果です!◆今 年は横田切れから120年です。関連する行事が友の会だけでなく 様々な機関で開催されます。チェックしてみてください。(E)

<事務局連絡先>

〒959-0123 燕市大川津1215-7 TEL 090-2673-6596(事務局長) 080-9876-3683(事務局) FAX 0256-97-3682

e-mail ohkouzu\_tomonokai@yahoo.co.jp https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/